



2027年度 入学要項

Admission Guidelines 2027



保育科通信教育課程

専攻科保育専攻通信教育課程



名古屋短期大学

保育科通信教育課程

「養成する人材像と3ポリシー」

養成する人材像

人類の福祉と子どもの最善の利益に貢献できる有為な保育者の養成

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

人類の福祉と子どもの最善の利益に貢献できる有為な保育者を育成することを教育目的としている。この目的を踏まえて編成された教育課程を通じて所定の単位を取得し、以下に示す「知識・技術」、「行動力」、「省察力」、「協働性」を身につけた者に「短期大学士(保育学)」の学位を授与する。

- ① [知識・技能] 保育と保育者の本質について理解する。
- ② [行動力] 豊かな人間性を備え、自己実現や社会貢献に向けて主体的に行動する。
- ③ [省察力] 自らの保育実践を振り返り、改善しようと努力する。
- ④ [協働性] 多様な課題の解決に向けて、社会の中でさまざまな人と連携、協働する。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

教育課程編成の方針

卒業認定・学位授与の方針に掲げる4つの能力を身につけた保育者を育てるために、基礎教育科目および専門教育科目を体系的に編成する。

- ① 基礎教育科目群においては、豊かな人間性と社会生活に必要とされる知識・技能を身につけるために、健康的な生活と将来を見通し、グローバル社会に対応できる知識や語学、ICTの基礎を修得できるようにする。
- ② 専門科目群においては、幼稚園教諭2種免許状を取得するための科目を適切に配置し、保育と保育者の本質について理解できるようにする。
- ③ 専門科目群においては、変化し続ける現代社会における多様な保育ニーズに対応する能力を身につけるための独自科目を設ける。

教育課程実施の方針

- ① 主体的な行動力や協働性の育成のため実践的な教育を実施する。
- ② 実習指導の科目や保育内容指導法の科目、実技系の科目において、保育実践力を身につけるため、アクティブラーニングなどのさまざまな方法を用いた教育を実施する。

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

保育に関する教育・研究を通して保育者をめざす学生の高度な専門性の修得と自己実現を支援し、人類の福祉と子どもの最善の利益に貢献しうる有為な保育者を養成するために、次のような入学者を求める。

- ① 保育者になりたいという意志が明確で、そのために真剣に努力できる人
- ② 保育者に求められる適性を備え、それをさらに伸ばそうとする意欲のある人
- ③ 子どもとその福祉に幅広い関心をもち、そのための学びと実践の意志をもっている人

詳しい情報はWebへ ▶



INDEX

[目次]

募集概要	P03
募集内容について	
入学資格について	
二重学籍の禁止について	
科目等履修生について	
教育課程(カリキュラム表)・履修モデルについて	P04
保育科通信教育課程、専攻科保育専攻通信教育課程	
履修モデル1 幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の両方の取得を目指す方	
履修モデル2 幼稚園教諭二種免許状の取得を目指す方	
履修モデル3 卒業のみを目指す方	
出願・選考方法・入学経費・学費について	P11
出願から学習開始までの進め方について	
出願手続きの流れについて	
選考方法について	
保育科通信教育課程 出願書類(正科生)について	
保育科通信教育課程 出願書類(科目等履修生)について	
保育科通信教育課程 出願日程(正科生)について	
保育科通信教育課程 出願日程(科目等履修生)について	
個人情報の取り扱いについて	
専攻科保育専攻通信教育課程の出願手続きについて	
入学経費・学費(正科生)について	
面接授業(スクーリング)費について	
実習費について	
教材費について	
入学経費・学費(科目等履修生)について	
学習について	P19
学習の進め方と単位修得の流れについて	
学習環境(パソコン・インターネット回線等)について	
面接授業(スクーリング)について	
面接授業(スクーリング)の通学方法、宿泊について	
学外実習(教育実習・保育実習)について	
科目認定試験の日程・試験方法について	
科目概要について	P23
保育科通信教育課程 科目概要について	
専攻科保育専攻通信教育課程 科目概要について	
学生生活(各種学生割引、奨学金等)について	P33
入学相談について	P34

募集概要

募集内容・入学資格

〔正科生〕

学科	定員	取得できる学位 免許状・資格	修業年限
保育科通信教育課程(2年) + 専攻科保育専攻通信教育課程(1年)※	150名	短期大学士 幼稚園教諭二種免許状※ 保育士資格	3年
保育科通信教育課程(2年)		短期大学士 幼稚園教諭二種免許状※	2年

※専攻科保育専攻通信教育課程の入学定員は150名となります。

※在学可能年限は、保育科通信教育課程で4年、専攻科保育専攻通信教育課程で2年となります。

※ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

正科生の入学資格

- (1) 高等学校を卒業した者若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む)
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (8) その他、18歳に達し、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

二重学籍の禁止について

本学では、他の大学・短期大学・専門学校等(通信制を含む)との二重学籍を禁止しています。必ず現在の在籍校を卒業または退学した上でご出願ください。(退学手続中の方は、令和9年3月31日までに退学が完了していることが入学許可の条件となります。)

なお、他大学等によっては科目等履修生であっても二重学籍とみなされる場合があります。本学と並行して在籍が可能かどうかは、必ずご自身の責任において在籍中の学校へご確認ください。

万が一、二重学籍が判明した場合は、いずれかの学校を選択し、もう一方は退学していただく必要があります。

〔科目等履修生〕

科目等履修とは、単位修得を目的として、正科生や専攻科生にはならず授業科目を履修することです。科目等履修生の入学資格は、正科生に準じます。なお、教育実習・保育実習およびその事前事後指導の科目については、本学保育科通信教育課程の卒業生以外の方は履修できません。

MEITAN TSUSHIN

教育課程・ 履修モデルについて

教育課程(カリキュラム表)

保育科通信教育課程

分類	卒業に必要な 単位数	卒業必修 または選択	授業科目	単位数	授業形式	授業形態		1年次		2年次	
						印刷 または 面接	テキスト または オンデマンド	前期	後期	前期	後期
基礎 教育 科目	10単位以上	選択	英語	1	演習	印刷	オンデマンド	●			
		選択	保育の英語	1	演習	印刷	オンデマンド		●		
		選択	情報処理演習	2	演習	印刷	オンデマンド	●			
		選択	スポーツ健康論	1	講義	印刷	テキスト	●			
		選択	スポーツ	1	実技	面接	—		●		
		選択	日本国憲法	2	講義	印刷	テキスト		●		
		必修	日本語表現	2	演習	印刷	オンデマンド	●			
		選択	安全な生活と危機管理	2	講義	面接	—				●
		選択	福祉スポーツ	2	講義	面接	—			●	
		選択	法学	2	講義	面接	—	●			
		選択	ジェンダーの多様性を学ぶ ことばをくらべる	2	講義	面接	—			●	
専門 教育 科目	52単位以上	必修	保育原理	2	講義	印刷	テキスト	●			
			教育原理	2	講義	印刷	テキスト	●			
			保育内容総論Ⅰ	1	演習	印刷	オンデマンド		●		
			保育内容総論Ⅱ	1	演習	面接	—		●		
			子どもの食と栄養Ⅰ	1	演習	印刷	オンデマンド				●
			子どもの食と栄養Ⅱ	1	演習	面接	—				●
			保育・教職実践演習(幼稚園)Ⅰ	1	演習	印刷	オンデマンド				●
			保育・教職実践演習(幼稚園)Ⅱ	1	演習	面接	—				●
		選択必修 (2単位以上)	子ども家庭福祉	2	講義	印刷	テキスト	●			
			社会福祉	2	講義	印刷	テキスト			●	
		選択必修 (2単位以上)	保育の心理学	2	講義	印刷	テキスト	●			
			特別支援教育論	1	講義	印刷	テキスト	●			
			幼児理解の理論と方法	1	演習	面接	—		●		
		選択必修 (7単位以上)	幼児教育相談	1	演習	面接	—				●
			保育の音楽Ⅰ	2	演習	印刷	オンデマンド	●			
			保育の音楽Ⅱ	2	演習	印刷	オンデマンド		●		
			子どもと音楽表現	2	演習	印刷	オンデマンド			●	
			子どもと造形表現Ⅰ	2	演習	印刷	オンデマンド	●			
			子どもと造形表現Ⅱ	2	演習	印刷	オンデマンド		●		
			子どもと健康Ⅱ	1	演習	印刷	オンデマンド				●
			児童文化	2	演習	印刷	オンデマンド				●
			インクルーシブ保育の理論と方法	1	講義	印刷	テキスト				●
			多文化共生保育	1	講義	印刷	テキスト				●
			病児保育と救命法	1	講義	印刷	テキスト				●
		選択必修 (3単位以上)	子どもと健康ⅠA	1	演習	印刷	オンデマンド			●	
			子どもと健康ⅠB	1	演習	面接	—			●	
			子どもと人間関係	1	演習	印刷	オンデマンド				●
			子どもと環境	1	演習	印刷	オンデマンド				●
			子どもと言葉	1	演習	印刷	オンデマンド			●	
		選択	子どもと表現	1	演習	面接	—			●	
			保育内容指導法「生活と健康」Ⅰ	1	演習	印刷	オンデマンド				●
			保育内容指導法「生活と健康」Ⅱ	1	演習	面接	—				●
			保育内容指導法「生活と人間関係」	1	演習	印刷	オンデマンド				●
			保育内容指導法「生活と環境」	1	演習	面接	—				●
			保育内容指導法「生活と言葉」	1	演習	印刷	オンデマンド			●	
			保育内容指導法「生活と表現」	1	演習	印刷	オンデマンド			●	
		選択	子ども家庭支援論	2	講義	印刷	テキスト		●		
			社会的養護Ⅰ	2	講義	印刷	テキスト	●			
			社会的養護Ⅱ	1	演習	面接	—		●		
			保育者論	2	講義	印刷	テキスト	●			
			教育関係法規	2	講義	印刷	テキスト				●
			子ども家庭支援の心理学	2	講義	印刷	テキスト			●	
			子どもの保健	2	講義	印刷	テキスト	●			
			保育カリキュラム論	2	講義	印刷	テキスト			●	
			教育・保育の方法	2	講義	印刷	テキスト			●	
			乳児保育Ⅰ	2	講義	印刷	テキスト		●		
			乳児保育Ⅱ	1	演習	面接	—			●	
			子どもの健康と安全	1	演習	面接	—		●		
			障害児保育Ⅰ	1	演習	印刷	オンデマンド			●	
			障害児保育Ⅱ	1	演習	面接	—			●	
			教育実習Ⅰ(事前・事後指導)	1	講義	印刷	オンデマンド			●	
			教育実習Ⅱ(事前・事後指導)	1	講義	印刷	オンデマンド				●
			教育実習Ⅰ	2	実習	実習	—			●	
			教育実習Ⅱ	2	実習	実習	—				●
計	62単位以上										

※卒業には、基礎教育科目で10単位以上、専門教育科目で52単位以上修得が必要。

※卒業には、面接授業(スクーリング)または実習の単位を15単位以上修得が必要。

※講義科目(テキスト授業)は、テキストを用いて学習を進めます。

※演習科目(オンデマンド授業)は、動画を視聴して学習を進めます。

専攻科保育専攻通信教育課程

分類	卒業必修 または 選択	授業科目	単位数	授業形式	授業形態		1年次	
					印刷 または 面接	テキスト または オンデマンド	前期	後期
専門 教育 科目	必修	保育実習IA(事前・事後指導)	1	演習	印刷	テキスト	●	
		保育実習IB(事前・事後指導)	1	演習	印刷	テキスト	●	
		保育実習I(保育所)	2	実習	実習	—	●	
		保育実習I(児童福祉施設)	2	実習	実習	—	●	
		保育実習II(事前・事後指導)	1	演習	印刷	オンデマンド		●
		保育実習II	2	実習	実習	—		●

履修モデル

履修モデル1. 幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の両方の取得を目指す方

幼稚園教諭二種免許状および保育士資格の取得には、本課程における修業に加え、下記の要件をすべて満たさなければなりません。

- ・幼稚園教諭二種免許状：保育科通信教育課程に2年間在学し、指定された教職課程科目の単位を修得の上、同課程を卒業すること。
- ・保育士資格：専攻科保育専攻通信教育課程を含め3年間在学し、厚生労働省の定める科目および実習の単位を修得の上、同専攻科を修了すること。

[想定される進路]

業種：幼稚園、保育所、認定こども園、児童福祉施設、行政機関や子育て支援センター、NPO法人等

職種：乳幼児対象教育保育職、公的な学校制度における教職や私的な教育機関における教育職

区分	授業科目	開講時期	履修方法	単位数	卒業 必修	選択	幼二種 必修	選択	保育士 必修	選択
基礎教育科目	外国語	英語	1前	印刷教材	1		○		○	
	保育の英語	1後	印刷教材	1			○		○	
	情報処理	情報処理演習	1前	印刷教材	2		○		○	
	スポーツ	スポーツ健康論	1前	印刷教材	1		○		○	
		スポーツ	1後	面接	1		○		○	
	特別	日本国憲法	1後	印刷教材	2		○		○	
	一般	日本語表現	1前	印刷教材	2	○			○	
		安全な生活と危機管理	2後	面接	2					
		福祉スポーツ	2前	面接	2					
		法学	1前	面接	2					
		ジェンダーの多様性を学ぶ	2前	面接	2					
		ことばをくらべる	2後	面接	2					
専門教育科目	保育原理	1前	印刷教材	2	○				○	
	教育原理	1前	印刷教材	2	○		○		○	
	子ども家庭福祉	1前	印刷教材	2		※1			○	
	社会福祉	2前	印刷教材	2					○	
	子ども家庭支援論	1後	印刷教材	2					○	
	社会的養護I	1前	印刷教材	2					○	
	社会的養護II	1後	面接	1					○	
	保育者論	1前	印刷教材	2			○		○	
	教育関係法規	2後	印刷教材	2			○			
	保育の心理学	1前	印刷教材	2			○		○	
	特別支援教育論	1前	印刷教材	1		※2	○			
	幼児理解の理論と方法	1後	面接	1			○		○	
	幼児教育相談	2後	面接	1			○		○	
	子ども家庭支援の心理学	2前	印刷教材	2					○	
	子どもの保健	1前	印刷教材	2					○	
	子どもの食と栄養I	2後	印刷教材	1	○				○	
	子どもの食と栄養II	2後	面接	1	○				○	
	保育カリキュラム論	2前	印刷教材	2			○		○	
	保育内容総論I	1後	印刷教材	1	○		○		○	
	保育内容総論II	1後	面接	1	○		○		○	
	保育内容指導法[生活と健康]I	2後	印刷教材	1			○		○	
	保育内容指導法[生活と健康]II	2後	面接	1			○		○	
	保育内容指導法[生活と人間関係]	2後	印刷教材	1			○		○	
	保育内容指導法[生活と環境]	2後	面接	1			○		○	
	保育内容指導法[生活と言葉]	2前	印刷教材	1			○		○	
	保育内容指導法[生活と表現]	2前	印刷教材	1			○		○	

区分	授業科目	開講時期	履修方法	単位数	卒業 必修	選択	幼二種 必修	選択	保育士 必修	選択
専門教育科目	子どもと人間関係	2後	印刷教材	1						
	子どもと環境	2後	印刷教材	1						
	子どもと言葉	2前	印刷教材	1		※3				※6
	子どもと健康IA	2前	印刷教材	1			※3			
	子どもと健康IB	2前	面接	1				※5	○	
	子どもと表現	2前	面接	1					○	
	子どもと音楽表現	2前	印刷教材	2						
	子どもと造形表現I	1前	印刷教材	2						
	子どもと造形表現II	1後	印刷教材	2						
	子どもと健康II	2後	印刷教材	1						
	保育の音楽I	1前	印刷教材	2		※4				
	保育の音楽II	1後	印刷教材	2						※7
	児童文化	2後	印刷教材	2						
	インクルーシブ保育の理論と方法	2後	印刷教材・隔年	1						
	多文化共生保育	2後	印刷教材・隔年	1						
	病児保育と救命法	2後	印刷教材	1						
	教育・保育の方法	2前	印刷教材	2			○			
	乳児保育I	1後	印刷教材	2					○	
	乳児保育II	2前	面接	1					○	
	子どもの健康と安全	1後	面接	1					○	
	障害児保育I	2前	印刷教材	1					○	
	障害児保育II	2前	面接	1					○	
	教育実習I(事前・事後指導)	2前	印刷教材	1			○			
	教育実習II(事前・事後指導)	2後	印刷教材	1			○			
	教育実習I	2前	実習	2			○			
	教育実習II	2後	実習	2			○			
	保育・教職実践演習(幼稚園)I	2後	印刷教材	1	○		○		○	
	保育・教職実践演習(幼稚園)II	2後	面接	1	○		○		○	

【注意事項】

- 卒業には、基礎教育科目の必修科目と選択科目を合わせて10単位以上の修得が必要です。
- 卒業には、専門教育科目の必修科目と選択科目を合わせて52単位以上修得する必要があります。(ただし、※1から2単位以上、※2から2単位以上、※3から3単位以上、※4から7単位以上を含めること)
- 卒業には、面接授業(スクーリング)または実習の単位を15単位以上修得することが必要です。
- 幼稚園教諭二種免許状を取得するには、教職課程科目(必修科目、ならびに※5から4単位以上)の単位を修得した上で、同課程を卒業する必要があります。
- 保育士資格を取得するには、厚生労働省の定める科目(必修科目、ならびに※6から2単位以上、※7から9単位以上)の単位を修得した上で、同課程を卒業し、同専攻科を修了する必要があります。

専攻科保育専攻通信教育課程

区分	授業科目	開講時期	履修方法	単位数	卒業		保育士	
					必修	選択	必修	選択
専門教育科目	保育実習IA(事前・事後指導)	1前	印刷教材	1	○		○	
	保育実習IB(事前・事後指導)	1前	印刷教材	1	○		○	
	保育実習II(事前・事後指導)	1後	印刷教材	1	○		○	
	保育実習I(保育所)	1前	実習	2	○		○	
	保育実習I(児童福祉施設)	1前	実習	2	○		○	
	保育実習II	1後	実習	2	○		○	

履修モデル2. 幼稚園教諭二種免許状の取得を目指す方

幼稚園教諭二種免許状の取得には、保育科通信教育課程に2年間在学し、下記の要件を満たす必要があります。

・教職課程として指定された科目の単位を修得の上、同課程を卒業すること。

[想定される進路]

業種：幼稚園、教育機関、行政機関や子育て支援センター、NPO法人等

職種：幼児対象教育職、公的な学校制度における教職や私的な教育機関における教育職

区分	授業科目	開講時期	履修方法	単位数	卒業 必修	選択	幼二種 必修	選択
基礎教育科目	外国語	英語	1前	印刷教材	1		○	
		保育の英語	1後	印刷教材	1		○	
	情報処理	情報処理演習	1前	印刷教材	2		○	
	スポーツ	スポーツ健康論	1前	印刷教材	1		○	
		スポーツ	1後	面接	1		○	
	特別	日本国憲法	1後	印刷教材	2		○	
	一般	日本語表現	1前	印刷教材	2	○		
		安全な生活と危機管理	2後	面接	2			
		福祉スポーツ	2前	面接	2			
		法学	1前	面接	2			
		ジェンダーの多様性を学ぶ	2前	面接	2			
		ことばをくらべる	2後	面接	2			
専門教育科目		保育原理	1前	印刷教材	2	○		
		教育原理	1前	印刷教材	2	○	○	
		子ども家庭福祉	1前	印刷教材	2		※1	
		社会福祉	2前	印刷教材	2			
		子ども家庭支援論	1後	印刷教材	2			
		社会的養護Ⅰ	1前	印刷教材	2			
		社会的養護Ⅱ	1後	面接	1			
		保育者論	1前	印刷教材	2		○	
		教育関係法規	2後	印刷教材	2		○	
		保育の心理学	1前	印刷教材	2		○	
		特別支援教育論	1前	印刷教材	1		○	
		幼児理解の理論と方法	1後	面接	1		○	
		幼児教育相談	2後	面接	1		○	
		子ども家庭支援の心理学	2前	印刷教材	2			
		子どもの保健	1前	印刷教材	2			
		子どもの食と栄養Ⅰ	2後	印刷教材	1	○		
		子どもの食と栄養Ⅱ	2後	面接	1	○		
		保育カリキュラム論	2前	印刷教材	2		○	
		保育内容総論Ⅰ	1後	印刷教材	1	○	○	
		保育内容総論Ⅱ	1後	面接	1	○	○	
		保育内容指導法「生活と健康」Ⅰ	2後	印刷教材	1		○	
		保育内容指導法「生活と健康」Ⅱ	2後	面接	1		○	
		保育内容指導法「生活と人間関係」	2後	印刷教材	1		○	
		保育内容指導法「生活と環境」	2後	面接	1		○	
		保育内容指導法「生活と言葉」	2前	印刷教材	1		○	
		保育内容指導法「生活と表現」	2前	印刷教材	1		○	

区分	授業科目	開講時期	履修方法	単位数	卒業 必修	選択	幼二種 必修	選択
専門教育科目	子どもと人間関係	2後	印刷教材	1				
	子どもと環境	2後	印刷教材	1				
	子どもと言葉	2前	印刷教材	1		※3		
	子どもと健康ⅠA	2前	印刷教材	1				
	子どもと健康ⅠB	2前	面接	1				※5
	子どもと表現	2前	面接	1				
	子どもと音楽表現	2前	印刷教材	2				
	子どもと造形表現Ⅰ	1前	印刷教材	2				
	子どもと造形表現Ⅱ	1後	印刷教材	2				
	子どもと健康Ⅱ	2後	印刷教材	1				
	保育の音楽Ⅰ	1前	印刷教材	2		※4		
	保育の音楽Ⅱ	1後	印刷教材	2				
	児童文化	2後	印刷教材	2				
	インクルーシブ保育の理論と方法	2後	印刷教材・隔年	1				
	多文化共生保育	2後	印刷教材・隔年	1				
	病児保育と救命法	2後	印刷教材	1				
	教育・保育の方法	2前	印刷教材	2			○	
	乳児保育Ⅰ	1後	印刷教材	2				
	乳児保育Ⅱ	2前	面接	1				
	子どもの健康と安全	1後	面接	1				
	障害児保育Ⅰ	2前	印刷教材	1				
	障害児保育Ⅱ	2前	面接	1				
	教育実習Ⅰ(事前・事後指導)	2前	印刷教材	1			○	
	教育実習Ⅱ(事前・事後指導)	2後	印刷教材	1			○	
	教育実習Ⅰ	2前	実習	2			○	
	教育実習Ⅱ	2後	実習	2			○	
	保育・教職実践演習(幼稚園)Ⅰ	2後	印刷教材	1	○		○	
	保育・教職実践演習(幼稚園)Ⅱ	2後	面接	1	○		○	

【注意事項】

- 卒業には、基礎教育科目の必修科目と選択科目を合わせて10単位以上の修得が必要です。
- 卒業には、専門教育科目の必修科目と選択科目を合わせて52単位以上修得する必要があります。(ただし、※1から2単位以上、※2から2単位以上、※3から3単位以上、※4から7単位以上を含めること)
- 卒業には、面接授業(スクーリング)または実習の単位を15単位以上修得することが必要です。
- 幼稚園教諭二種免許状を取得するには、教職課程科目(必修科目、ならびに※5から4単位以上)の単位を修得した上で、同課程を卒業する必要があります。

履修モデル3. 卒業のみを目指す方

保育科通信教育課程の卒業には、2年間の修業年限を満たした上で、基礎教育科目10単位以上、専門教育科目52単位以上、計62単位以上の修得が必要です。

[想定される進路]

業種：幼稚園、保育所、認定こども園、児童福祉施設、行政機関や子育て支援センター、NPO法人等

職種：教育機関における学校事務職、保育所や施設における事務職、四年制大学への編入

区分	授業科目	開講時期	履修方法	単位数	卒業 必修	選択
基礎教育科目	外国語	英語	1前	印刷教材	1	
		保育の英語	1後	印刷教材	1	
	情報処理	情報処理演習	1前	印刷教材	2	
	スポーツ	スポーツ健康論	1前	印刷教材	1	
		スポーツ	1後	面接	1	
	特別	日本国憲法	1後	印刷教材	2	
	一般	日本語表現	1前	印刷教材	2	◎
		安全な生活と危機管理	2後	面接	2	
		福祉スポーツ	2前	面接	2	
		法学	1前	面接	2	
		ジェンダーの多様性を学ぶ	2前	面接	2	
		ことばをくらべる	2後	面接	2	
専門教育科目		保育原理	1前	印刷教材	2	◎
		教育原理	1前	印刷教材	2	◎
		子ども家庭福祉	1前	印刷教材	2	※1
		社会福祉	2前	印刷教材	2	
		子ども家庭支援論	1後	印刷教材	2	
		社会的養護Ⅰ	1前	印刷教材	2	
		社会的養護Ⅱ	1後	面接	1	
		保育者論	1前	印刷教材	2	
		教育関係法規	2後	印刷教材	2	
		保育の心理学	1前	印刷教材	2	
		特別支援教育論	1前	印刷教材	1	※2
		幼児理解の理論と方法	1後	面接	1	
		幼児教育相談	2後	面接	1	
		子ども家庭支援の心理学	2前	印刷教材	2	
		子どもの保健	1前	印刷教材	2	
		子どもの食と栄養Ⅰ	2後	印刷教材	1	◎
		子どもの食と栄養Ⅱ	2後	面接	1	◎
		保育カリキュラム論	2前	印刷教材	2	
		保育内容総論Ⅰ	1後	印刷教材	1	◎
		保育内容総論Ⅱ	1後	面接	1	◎
		保育内容指導法「生活と健康」Ⅰ	2後	印刷教材	1	
		保育内容指導法「生活と健康」Ⅱ	2後	面接	1	
		保育内容指導法「生活と人間関係」	2後	印刷教材	1	
		保育内容指導法「生活と環境」	2後	面接	1	
		保育内容指導法「生活と言葉」	2前	印刷教材	1	
		保育内容指導法「生活と表現」	2前	印刷教材	1	

区分	授業科目	開講時期	履修方法	単位数	卒業 必修	選択
専門教育科目	子どもと人間関係	2後	印刷教材	1		
	子どもと環境	2後	印刷教材	1		
	子どもと言葉	2前	印刷教材	1		※3
	子どもと健康ⅠA	2前	印刷教材	1		
	子どもと健康ⅠB	2前	面接	1		
	子どもと表現	2前	面接	1		
	子どもと音楽表現	2前	印刷教材	2		
	子どもと造形表現Ⅰ	1前	印刷教材	2		
	子どもと造形表現Ⅱ	1後	印刷教材	2		
	子どもと健康Ⅱ	2後	印刷教材	1		
	保育の音楽Ⅰ	1前	印刷教材	2		※4
	保育の音楽Ⅱ	1後	印刷教材	2		
	児童文化	2後	印刷教材	2		
	インクルーシブ保育の理論と方法	2後	印刷教材・隔年	1		
	多文化共生保育	2後	印刷教材・隔年	1		
	病児保育と救命法	2後	印刷教材	1		
	教育・保育の方法	2前	印刷教材	2		
	乳児保育Ⅰ	1後	印刷教材	2		
	乳児保育Ⅱ	2前	面接	1		
	子どもの健康と安全	1後	面接	1		
	障害児保育Ⅰ	2前	印刷教材	1		
	障害児保育Ⅱ	2前	面接	1		
	教育実習Ⅰ(事前・事後指導)	2前	印刷教材	1		
	教育実習Ⅱ(事前・事後指導)	2後	印刷教材	1		
	教育実習Ⅰ	2前	実習	2		
	教育実習Ⅱ	2後	実習	2		
	保育・教職実践演習(幼稚園)Ⅰ	2後	印刷教材	1	◎	
	保育・教職実践演習(幼稚園)Ⅱ	2後	面接	1	◎	

【注意事項】

- 卒業には、基礎教育科目の必修科目と選択科目を合わせて10単位以上の修得が必要です。
- 卒業には、専門教育科目の必修科目と選択科目を合わせて52単位以上修得する必要があります。(ただし、※1から2単位以上、※2から2単位以上、※3から3単位以上、※4から7単位以上を含めること)
- 卒業には、面接授業(スクーリング)または実習の単位を15単位以上修得することが必要です。

MEITAN TSUSHIN

出願・選考方法・
入学経費・学費について

出願から学習開始までの進め方

※出願登録は、インターネットから行います。詳細は次頁の「出願手続きの流れ」を参照してください。

1 出願書類の準備	・出願資格の証明書等を出身校等から取り寄せてください。・証明写真データを準備してください。
2 Web登録	・名古屋短期大学保育科通信教育課程の入試情報にアクセスし、Web登録(P13を参照)を行ってください。
3 入学経費および学費の納付	・入学経費および学費を支払ってください。(クレジットカード決済またはコンビニ払い) ※納入された入学経費等(システム利用料等を含む)は返金できません。
4 出願書類の提出	・入学経費および学費納入後に出願サイトからダウンロードした書類は、ご自身で用意した封筒(角型2号)を使用し、入試広報課へ郵送(簡易書留)または持参してください。 
5 出願書類の受付	・出願書類が本学に到着すると、「受理通知」のメールが登録いただいたメールアドレスに送信されます。 メール(koho@nagoyacollege.ac.jp)で連絡するため、迷惑メールに格納されないようご注意ください。 ・出願書類等に不備や記入漏れがあった場合、すべてが完備されてから書類選考を行います。 ・不備や記入漏れについては、入試広報課(0562-97-6311)からご連絡します。
6 書類選考	・出願書類による書類選考といたします。ただし、必要に応じて面接等を行うことがあります。 ・障がい等があり、修学上の合理的配慮を必要とされる方は、出願前のできるだけ早い時期に必ず入試広報課にお申し出ください。
7 入学許可書発送	・「入学許可書」を送付します。「入学許可書」の発送予定日は、P17を確認してください。 ・「誓約書」または「入学辞退届」は、入学手続きに関するサイトからダウンロードしてください。 ・期日までに「誓約書」または「入学辞退届」を本学へ返送してください。 ※「誓約書」を提出後は、いかなる場合であっても入学経費等は返金できません。 ※「入学辞退届」を提出された方は、P34をご確認ください。
8 「学生証」及び「各種アカウント」発送	・提出された誓約書を確認後、学生証(身分証明書)、各種アカウントが送付されます。 ※2・3月頃に発送予定
9 履修登録	・ポータルサイトから履修したい科目を登録(スクーリング科目を含む)してください。
10 教科書購入	・受講に必要な教科書を購入してください。
11 学習開始	・WebClassより学習を開始します。・スクーリング科目は指定された日時にて開講します。

Web登録時の証明写真データについて

スマートフォンやデジタルカメラ等で撮影した画像を証明写真データとして登録することが可能です。証明写真データは、入学後の本人確認の照合や学生証(正科生)に使用しますので、相応しい服装(制服不可)としてください。また、以下の注意点をご確認のうえ、3か月以内に撮影した画像を登録してください。



○適切な写真例



●前髪が目・眉にかかっている



●メガネが目・眉にかかっている
●顔の輪郭が隠れている



●背景に人や物が写り込んでいる



●ノイズがある
●ピンボケなどで不鮮明
※紙焼きした写真を接写する場合は、注意が必要です



●半身または正面でなく横向きに写っている



●アプリなどで加工し、通常の顔かたちと著しく異なる

×不適切な写真例

【証明写真データの撮影に関する注意点】●両目及び両眉が明らかなもの ●上半身のもの ●頭頂部が隠れていないもの ●無帽のもの ●目線が正面を向いていること
●背景は無地とし、白・青・グレー壁等で撮影したもの ●白黒又はセピア写真データの使用は認めません ●ファイル形式は、JPEGとします ●画像データは、5MB以下とします

出願手続きについて(正科生)

出願手続きの流れ

出願手続きは、「1. Web登録」「2. 入学経費および学費の支払い」「3. 出願書類の提出」全てを行うことにより完了します。

「1. Web登録」だけでは、出願完了となりませんので、ご注意ください。

STEP
1

Web登録 (出願開始日から手続きできます)

Webサイトはこちら ▶



① 本学の入試情報サイトのWeb登録へアクセス

② 個人情報の取扱いに同意してメールアドレスを登録

- ・日常的に確認できるメールアドレス(携帯電話等のアドレスも可)を準備してください。
- ・「@g-sb.net」を受信できるように設定してください。(設定方法はお使いのキャリアで確認してください)
- ・メールアドレス登録には次のパスワードの入力が必要です。 **パスワード/D27Z**

③ 登録したメールアドレスに届いた「出願フォーム」URLへアクセスし、必要事項の入力と写真をアップロード

※名前に「常用外漢字」「旧字体」が含まれる場合は「常用漢字」で入力してください。

STEP
2

入学経費および学費の支払い (クレジットカード決済またはコンビニ払い)

入学経費+学費(1年次)／170,480円 ※支払いに関する手数料は本人負担です。

※上記の金額は、入学検定料(10,000円)を含んだ合計金額です。

※納入された入学経費等(システム利用料等を含む)は返金できません。

※入学不許可の場合は、納入済の費用を返還いたします。ただし、入学検定料は返還対象外となります。

▶ お支払い完了後、クレジットカードの場合はすぐに、コンビニの場合はお支払い完了後

当日中に、登録したメールアドレスへ「入学経費等お支払い完了に関するメール」が届きます。

重要

「入学経費等お支払い完了に関するメール」には、マイページにログインする際のURLやパスワード、支払い番号等の重要な項目が記載されています。今年度が終了するまで大切に保管してください。メールが届かない場合は本学にご連絡ください。

STEP
3

出願書類の提出

出願する入学試験の出願書類を出願期間内に入試広報課へ郵送(簡易書留)または持参してください。

出願書類は「名古屋短期大学 保育科通信教育課程のホームページ」から入手してください。

<https://www.nagoyacollege.ac.jp/cch/nyushi/index.html>

Webサイトはこちら ▶



※郵送、持参とも最終日必着。

持参の場合は平日9:00～16:00、土曜日9:00～13:00の間、入試広報課窓口で受け付けます。

選考方法

提出された出願書類(入学資格確認書類および入学志望理由書)に基づき、書類選考を行います。

出願書類

- ・入学資格を確認できる書類(調査書、成績証明書等)
- ・入学志望理由書

「入学志望理由書」の記入内容について

本学の以下2つのアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)を踏まえた上で、
本学における「修学計画」および「将来の進路目標」について、以下の①～③の要素を必ず含めて具体的に記述してください。

[踏まえるべきアドミッション・ポリシー]

- 1.名古屋短期大学 アドミッション・ポリシー
- 2.本通信教育課程 アドミッション・ポリシー

記述に必ず
含める内容

①興味・関心

教育学・保育学に対して、どのような興味や関心を持っているか。

②主体的な学習姿勢

自身が構想する修学計画を推進し、将来の進路目標を達成するために、
教育学・保育学を「主体的に学ぶ」にはどのような姿勢で臨むか。

③協働的な学習姿勢

自身が構想する修学計画を推進し、将来の進路目標を達成するために、
教育学・保育学を「多様な人々と協働して学ぶ」にはどのような姿勢で臨むか。

出願書類(正科生)

- ・入試情報サイトより、「入学志望理由書」をダウンロードしてください。
- ・「入学志望理由書」および「出願用封筒貼付用紙」はA4サイズで片面印刷してください。

※書類作成にあたっては、消えないペンまたはボールペンを用い、楷書で記入してください。

※鉛筆や消せるボールペンは使用できません。

※提出された書類は返却いたしません。

必須書類	①入学志望理由書 (本学所定用紙)	名古屋短期大学のアドミッション・ポリシー(入学受入の方針)、および本通信教育課程のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、本学における「修学計画」と「将来の進路目標」について具体的に記述してください。なお、記述にあたっては、以下の①～③の要素を必ず含めてください。800字程度。 ①興味・関心 教育学・保育学に対して、どのような興味や関心を持っているか。 ②主体的な学習姿勢 自身が構想する修学計画を推進し、将来の進路目標を達成するために、教育学・保育学を「主体的に学ぶ」にはどのような姿勢で臨むか。 ③協働的な学習姿勢 自身が構想する修学計画を推進し、将来の進路目標を達成するために、教育学・保育学を「多様な人々と協働して学ぶ」にはどのような姿勢で臨むか。													
	②出願資格の証明書 (発行日から1年以内のものに限る)	<table><thead><tr><th>出願資格</th><th>該当する証明書</th></tr></thead><tbody><tr><td>①高等学校または中等教育学校後期課程卒業生及び卒業見込者 ②通常の課程による12年の学校教育修了者及び修了見込者 ③在外教育施設当該課程修了者及び修了見込者</td><td>調査書(原本) ただし、卒業後5年以上経過し、高等学校等より「調査書」が発行されない場合は「卒業証明書」を提出してください。</td></tr><tr><td>④外国の学校等修了(見込)者 ⑤専修学校の高等課程修了(見込)者</td><td>①修了(見込)証明書(原本) ②成績証明書(原本) なお、日本と外国の両方の高等学校に在籍した方は、日本の高等学校在学中の「調査書」も併せて提出してください。</td></tr><tr><td>⑥文部科学大臣の指定した者</td><td>AまたはB A ①修了(見込)証明書(原本) ②成績証明書(原本) B 資格証明書の写し</td></tr><tr><td>⑦高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者</td><td>合格見込成績証明書(原本)または合格証明書</td></tr><tr><td>⑧その他の者</td><td>別途、ご相談ください。</td></tr></tbody></table> <注意> 1 令和9年3月高等学校卒業見込(高等学校卒業程度認定試験合格見込)で出願し、入学を許可された方は、卒業証明書(合格証明書)を3月末までに追跡可能な郵便で本学あてに提出してください。未提出の場合は、入学を取り消すことがあります。 2 書類選考の際、上記以外の証明書の提出を求める場合があります。 3 日本国外の学校を修了した方で、証明書の発行が受けられない等の理由により卒業(修了)証明書の提出ができない場合は、卒業(修了)証書の原本を提出してください。確認後、入学許可書に同封して返却します。 4 大学を中途退学している方は、必ず「在籍期間証明書」または「退学証明書」を同封してください。 5 「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律(通称:こども性暴力防止法)」の施行に伴い、本学における実習の実施に際し、実習予定者について犯罪事実確認が行われる場合があります。この手続を通じて特定性犯罪前科が確認された学生については、児童対象性暴力等を行うおそれがあるとして、特定児童対象施設等における児童生徒等に接する業務(実習)に従事させることができません。つきましては、本学では実習を予定している学生に対し、入学後に同意書(犯罪事実確認等に関する同意)および誓約書(特定性犯罪前科がない旨の誓約)の提出をしていただく予定です。制度の詳細につきましては、「こども家庭庁ホームページ」をご確認ください。	出願資格	該当する証明書	①高等学校または中等教育学校後期課程卒業生及び卒業見込者 ②通常の課程による12年の学校教育修了者及び修了見込者 ③在外教育施設当該課程修了者及び修了見込者	調査書(原本) ただし、卒業後5年以上経過し、高等学校等より「調査書」が発行されない場合は「卒業証明書」を提出してください。	④外国の学校等修了(見込)者 ⑤専修学校の高等課程修了(見込)者	①修了(見込)証明書(原本) ②成績証明書(原本) なお、日本と外国の両方の高等学校に在籍した方は、日本の高等学校在学中の「調査書」も併せて提出してください。	⑥文部科学大臣の指定した者	AまたはB A ①修了(見込)証明書(原本) ②成績証明書(原本) B 資格証明書の写し	⑦高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者	合格見込成績証明書(原本)または合格証明書	⑧その他の者	別途、ご相談ください。	
	出願資格	該当する証明書													
①高等学校または中等教育学校後期課程卒業生及び卒業見込者 ②通常の課程による12年の学校教育修了者及び修了見込者 ③在外教育施設当該課程修了者及び修了見込者	調査書(原本) ただし、卒業後5年以上経過し、高等学校等より「調査書」が発行されない場合は「卒業証明書」を提出してください。														
④外国の学校等修了(見込)者 ⑤専修学校の高等課程修了(見込)者	①修了(見込)証明書(原本) ②成績証明書(原本) なお、日本と外国の両方の高等学校に在籍した方は、日本の高等学校在学中の「調査書」も併せて提出してください。														
⑥文部科学大臣の指定した者	AまたはB A ①修了(見込)証明書(原本) ②成績証明書(原本) B 資格証明書の写し														
⑦高等学校卒業程度認定試験合格(見込)者または大学入学資格検定合格者	合格見込成績証明書(原本)または合格証明書														
⑧その他の者	別途、ご相談ください。														
③出願用封筒	・封筒(角形2号/24cm×33.2cm)を各自で用意してください。 ・出願用封筒貼付用紙をA4サイズでカラー印刷し、必要事項を記入してオモテ面に貼り付け、出願書類一式を封筒に入れてください。														
該当者のみ提出	④②の証明書類と現在の氏名が異なる方	戸籍抄本(戸籍個人事項証明書)を提出してください。発行日から3か月以内のものに限ります。													
	⑤日本在住の外国籍の方	日本在住の外国籍の方は、次の書類を提出してください。 ①住民票-発行から3か月以内のもの(記載事項が省略されたものは不可) ②身元保証書-国内在住の身元保証人に身元を保証していただくための書類 ③氏名使用に関する承諾書-氏名についての確認に要する書類 在留資格が「留学」の方は、次の書類も併せて提出してください。 ①日本語能力試験成績証明書-日本語能力試験2級又はN2以上を所持していること													
	⑥在学中の大学・短期大学を中途退学される方(手続き中を含む)	①在籍している学校の成績証明書(全ての成績が証明されたもの) ②退学手続中であることを確認できる証明書(退学見込証明書、退学願受理証明書など) ※修得単位に関わらず1学年入学のみとなります。 ※本学に入学するには退学日が令和9年3月31日以前になることが条件になります(二重学籍禁止のため)。													

出願書類(科目等履修生)

・本学所定用紙「科目等履修生入学願書」に必要事項を記入のうえ、提出してください。

※書類作成にあたっては、消えないペンまたはボールペンを用い、楷書で記入してください。

※鉛筆や消せるボールペンは使用できません。

※提出された書類は返却いたしません。

必須書類	①	科目等履修生入学願書	必要な方は本学学生支援課までご連絡ください。 所定用紙を郵送します。 (代表電話)0562-97-1306
	②	出願資格の証明書 (発行日から1年以内のものに限る)	卒業証明書(最終学歴のもの)または大学入学資格を証明するもの ＜注意＞ 書類選考の際、上記以外の証明書の提出を求める場合があります。
該当者のみ 提出	③	②の証明書類と 現在の氏名が異なる方	戸籍抄本(戸籍個人事項証明書)を提出してください。 発行日から3か月以内のものに限ります。

出願日程

〔正科生〕

正科生の入学時期は、毎年度4月のみとしています。

出願が完了した方から随時選考及び入学の許可を行います。

	出願受付期間(必着)	入学許可書等発送予定日
I期	令和8年11月2日(月)～令和8年11月30日(月)	令和8年12月22日(火)
II期	令和8年12月1日(火)～令和8年12月25日(金)	令和9年 1月19日(火)
III期	令和9年 1月5日(火)～令和9年 1月30日(土)	令和9年 2月16日(火)
IV期	令和9年 2月1日(月)～令和9年 3月 5日(金)	令和9年 3月12日(金)
V期	令和9年 3月6日(土)～令和9年 3月24日(水)	令和9年 3月31日(水)

〔科目等履修生〕

科目等履修生は、前期開講科目は4～9月に、後期開講科目は10～翌年3月に履修することが可能です。

入学時期	出願受付期間(必着)	入学許可書等発送予定日
4月	令和9年1月5日(火)～令和9年3月31日(水)	令和9年 4月下旬
10月	令和9年7月1日(木)～令和9年9月20日(月)	令和9年10月下旬

(備考)正科生・科目等履修生 共通

- 出願期間締切日は消印有効ではなく必着です。
- 出願書類に不備がある場合は、不備が解消された日付での受付となります。
- 原則として、提出された出願書類は返却いたしません。
- (正科生のみ)V期で出願し合格した場合、学習開始時期が遅くなり、初回科目認定試験の受験ができない場合があります。

※個人情報の取り扱いについて

ご提出いただいた出願書類の個人情報は、本学にて厳重に管理いたします。個人情報の取り扱いにあたっては、法令や国の指針を遵守し、適切な収集・管理・利用を徹底いたします。なお、これらの情報は入試および入学後の教育・研究活動、および進路支援などの目的にのみ利用し、確実な保護に努めてまいります。

専攻科保育専攻通信教育課程の出願手続き

出願手続きは、保育科通信教育課程に準じます。

なお、出願をご希望の方は、手続きの前に本学までお問い合わせください。

入学経費・学費

〔正科生〕

保育科通信教育課程

内訳	入学検定料	入学金	授業料	演習教材費	保険料	合計
1年次	10,000円	30,000円	110,000円	20,000円	480円	170,480円
2年次			110,000円	20,000円	340円	130,340円
備考	入学時のみ		年額			

専攻科保育専攻通信教育課程

※保育科通信教育課程を卒業し、保育士資格の取得を目指す方のみ入学可

内訳	入学検定料	入学金	授業料	演習教材費	保険料	合計
1年次	10,000円	30,000円	78,000円	5,000円	480円	123,480円
備考	入学時のみ		年額			

(備考) 保育科通信教育課程・専攻科保育専攻通信教育課程 共通

- 入学経費および学費は出願サイトの案内に従い、クレジットカード決済またはコンビニ払いにて一括納入(入学経費および学費)してください。別途、手数料がかかります。
- 納入金の分納はできません。
- 授業料には科目認定試験代を含んでいます。
- 演習教材費はシステム利用料及び管理費として納入していただきます。
- 入学時に「学研災(学生教育研究災害傷害保険)」および「学研賠(学研災付帯賠償責任保険)」に加入していただきます。
なお、保育科通信教育課程2年次については「学研賠」のみの加入となります。

- 【保育科通信教育課程のみ】当学園の卒業生・同窓生・在学生の二親等以内にあたる方、および当学園の系列校からの入学者を対象に、入学金の半額を入学後に返金いたします。
- 【専攻科保育専攻通信教育課程のみ】本学の通信教育課程(正科生)から専攻科保育専攻通信教育課程へ入学される方は、入学金を全額免除いたします。

面接授業(スクーリング)費について

面接授業(スクーリング)を受講するには別途、1単位につき10,000円が必要となります。

実習費について

※幼稚園教諭二種免許状、保育士資格の取得を希望する方

実習に参加するには別途、1科目につき20,000円が必要となります。

教材費について

学習に必要なテキストは各自で購入していただきます。その他、授業で必要な消耗品費が生じることがあります。

〔科目等履修生〕

保育科通信教育課程 ※令和9年度は1年次配当科目のみ受講できます。

内訳	入学検定料	科目授業料	合計
納入金	5,000円	10,000円 (1単位につき)	5,000円 +(申請単位数×10,000円)
備考	入学時のみ		

専攻科保育専攻通信教育課程

内訳	入学検定料	科目授業料	合計
納入金	5,000円	10,000円 (1単位につき)	5,000円 +(申請単位数×10,000円)
備考	入学時のみ		

(備考)

- 上記納入金に教材費は含まれません。別途、テキスト代や授業で必要な消耗品費が必要です。
- 銀行振込にて一括納入してください。別途、手数料がかかります。
- 納入金の分納はできません。
- 授業料には科目認定試験代を含んでいます。

MEITAN TSUSHIN

—

学習について

学習の進め方と単位修得の流れ



学習環境(パソコン・インターネット回線等)

本学の講義受講(動画視聴やオンラインでの科目認定試験)を円滑に進めるため、以下のスペックを満たすPCおよびインターネット回線をご準備いただく必要があります。

▶オンライン学習における推奨PCスペックについて

- | | |
|---|----------------------|
| ・OS: Windows11 | ・ストレージ: SSD 256GB 以上 |
| ・CPU: Intel Core i5 以上(または同等以上の性能を持つもの) | ・周辺機器: Webカメラ・マイク |
| ・メモリ: 8GB 以上(16GB推奨) | |

▶インターネット回線について

動画の停止や試験中の通信切断を防ぐため、ご自宅では安定した光回線などのブロードバンド回線のご利用を推奨します。

※モバイルWi-Fi(ポケット型Wi-Fi)、スマホのテザリング(LTE等)、公共のWi-Fiスポットは通信が不安定になりやすいため、使用をお控えください。

▶周辺機器について

オンラインでの出欠確認や、科目認定試験時の本人確認・不正防止(手元や周囲の撮影)のためにWebカメラを使用します。

試験中は手元や周辺環境を映す必要がありますが、PC内蔵のカメラでは撮影範囲が固定されてしまい対応できないため、

市販の外付けWebカメラをご用意ください。また、オンラインでの個別相談等でマイクを使用します。

面接授業(スクーリング)について

面接授業(スクーリング)の会場:名古屋短期大学会場(以下「名短会場」という)、東京会場

名短会場では、土曜日・日曜日を中心に開催します。

東京会場では、平日を中心に、集中して実施する予定です。

※面接授業(スクーリング)日程は、名短会場と東京会場で異なります。

※面接授業(スクーリング)日程の詳細は、決まり次第ホームページへ掲載します。

Webサイトはこちら ▶



名短会場

名古屋短期大学・桜花学園大学キャンパス

[住所]愛知県豊明市栄町武侍48

東京会場

23区内の交通の利便性が良い場所で実施予定

※詳細は、決まり次第ホームページへ掲載します。

通学方法、宿泊について

名短会場での面接授業(スクーリング)については、自動車による通学が可能です。キャンパス内の駐車場を無料で利用することができます。

東京会場については公共交通機関を利用して通学してください。

宿泊施設の紹介を希望する場合は、随時ご相談ください。

学外実習(教育実習・保育実習)

I. 学外実習の時期・期間

学外実習は、以下の課程における資格・免許状の取得に必須となります。

・保育科通信教育課程:幼稚園教諭二種免許状

・専攻科保育専攻通信教育課程:保育士資格

取得する免許・資格	科目名	単位数	実習先	実施時期	期間
幼稚園教諭 二種免許状	教育実習I	2単位	幼稚園または 認定こども園	2年次 5-6月頃	連続する10日間
	教育実習II	2単位	幼稚園または 認定こども園	2年次 9-10月頃	連続する10日間
保育士資格	保育実習I (児童福祉施設)	2単位	児童養護施設 乳児院 他	専攻科1年次 5-6月頃	連続する10日間
	保育実習I (保育所)	2単位	保育所または 認定こども園	専攻科1年次 8-9月頃	連続する10日間
	保育実習II	2単位	保育所または 認定こども園	専攻科1年次 11-12月頃	連続する10日間

*1日の実習時間(休憩時間を除く)は8時間程度

II. 実習先

愛知県内で実習を希望する場合は、本学が確保した実習先に配属されます。

愛知県以外の地域で実習を希望する場合は、学生が自分で実習先に依頼します。

勤務先の施設や、私的な関係のある施設（経営に関与している施設、家族の通所先・勤務先など）を実習先として選定することはできません。ただし、勤務先の系列施設や母園での実習は可能です。

III. 事前・事後指導

各実習の数ヶ月前から事前・事後指導科目の受講が可能となります。その科目の授業の一部は面接授業（スクーリング）で受講することとなり、各実習の1～2ヶ月前に受講する必要があります。

IV. 学外実習の受講資格

教育実習、保育実習を受講するにあたって、本学では以下の事項を要件としています。

- (1) 教職又は保育職に関連する職種に就くことを希望していること。
- (2) 各実習が指定する「実習受講資格判定」までに、所定の科目を修得済みであること。（詳細は、入学後に配布される「学習の手引き」に記載）
- (3) 指定の期日までに「実習参加意思確認書」を提出していること。
- (4) 同一年度内に受講する実習の科目が4科目以下であること。

この他にも、健康状態や学費納入状況、法令に定められていることなど、実習が許可されるための条件があります。

科目認定試験日程・試験方法

科目認定試験は、印刷教材授業・メディア利用授業（オンデマンド授業）の学習を通して必要な知識が身についたことを評価するものです。前期・後期それぞれ約10日間（主に土曜日・日曜日）の試験日程が設けられており、自分の学習進度に合わせて受験します。試験は自宅でパソコンを利用して実施します。

MEITAN TSUSHIN

科目概要について

科目概要(保育科通信教育課程)

本課程で開講するすべての科目の科目概要(授業内容)です。

幼稚園教諭二種免許状取得に必要な専門知識、実技、実習にいたるまで、それぞれの科目の具体的な内容を紹介します。

英語

【印刷教材授業】本授業は、本通信教育課程のディプロマ・ポリシーである「HTDP2〔行動力〕豊かな人間性を備え、自己実現や社会貢献に向けて主体的に行動する。」に関連する科目である。グローバル化が進む中で、保育現場では子どもだけでなく、外国にルーツをもつ保護者と英語でやり取りをする場面も増えていくことが予想される。本授業では、保育の場で英語を取り入れるための基礎的な知識と表現を学ぶ。保育現場を想定した課題を提示し、学生に各自で録音した音声データ(MP3等)を提出させることで「音読」に係る学修到達度を確認する。担当教員は、提出された音声データを確認し、LMSでのメッセージ機能を利用して学生へフィードバックをする。また、保育場面の動画を参考資料として提示することで視覚的・聴覚的理解を促進させる。リスニングや音読を中心とした活動を通して、英語の音やリズムに慣れ、保育現場で実際に使える英語を身につけることを目指す。

情報処理演習

【印刷教材授業】本授業では、パソコンおよびMicrosoft Office(Word・Excel・PowerPoint)を用いた演習を通して、情報機器やソフトウェアの基本的な操作技能を身につける。あわせて、情報検索、データの収集・整理・分析、画像・動画の編集などに取り組み、それらを効果的に活用する方法について学ぶ。また、個人情報保護や著作権などの情報モラルについて理解を深め、特に保育現場における情報の適切な管理や活用のあり方について、事例をもとに考察する。これらの学修を通して、ICTを適切かつ効果的に活用するための基礎的な知識と技能を養う。

スポーツ

【面接授業】この科目は、スポーツを通じて心身の健康維持と増進を図り、生涯にわたって豊かな生活を送るための基礎を築くことを目的とした実技科目である。球技やリズム運動などのスポーツ活動を体験する。各実技を通じて、基本的な技能とルール、そして集団活動における安全管理とマナーを習得する。単に運動能力を高めるだけでなく、自身の体力レベルを理解し、自主的に運動習慣を継続できる知識と態度を身につけることを目指す。

保育の英語

【印刷教材授業】本授業は、本通信教育課程のディプロマ・ポリシーである「HTDP2〔行動力〕豊かな人間性を備え、自己実現や社会貢献に向けて主体的に行動する。」に関連する科目である。グローバル化が進む中で、保育現場では子どもだけでなく、外国にルーツをもつ保護者と英語でやり取りをする場面も増えていくことが予想される。本授業では、保育の場で英語を取り入れるための基礎的な知識と表現を学ぶ。保育現場を想定した課題を提示し、学生に各自で録音した音声データ(MP3等)を提出させることで「音読」に係る学修到達度を確認する。担当教員は、提出された音声データを確認し、LMSでのメッセージ機能を利用して学生へフィードバックをする。また、保育場面の動画を参考資料として提示することで視覚的・聴覚的理解を促進させる。リスニングや音読を中心とした活動を通して、英語の音やリズムに慣れ、保育現場で実際に使える英語を身につけることを目指す。

スポーツ健康論

【印刷教材授業】本授業では、生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るために必要な知識や、適切な行動習慣の身につけ方を学びます。さらに、社会のあらゆる角度から「より良く生きるために再考すべき課題」を、健康とスポーツというキーワードを通して発見・探求していく。授業に向けては、プリント課題に取り組む、テキスト等の該当箇所をまとめる、健康・スポーツ・運動に関する新聞記事や書籍等を読むといった準備学修を課し、より良く生きるために再考すべき課題を探求する姿勢を養う。

日本国憲法

【印刷教材授業】日本国憲法について、これまでも中学校・高等学校の「公民科」の授業などで学んできたはずなので、本授業科目ではその復習をしながら、隣接分野の内容も含むさらに詳しい内容を学修する。その際には、学科DPにおける「保育と子育てに対して理論的・実践的に考究する能力を有し、自己実現を成し遂げながら、人類の福祉と子どもの最善の利益のために積極的に社会に参加し、問題を解決することができる」能力の養成を強く意識した内容を展開する。

日本語表現

【印刷教材授業】本授業は、教材を用いた講義を行う。教材に基づき「練習」「課題」「解答」「解説」の順で進行し、授業内での文章作成や提出に加え、課題の提出も求める。文体や句読点、段落の切り方といった形式面の正しい使い方ははじめ、文章の要約や引用の手法を理解・実践します。さらに、メールや就職活動用文書などの実用文から、意見文やレポートをはじめとするアカデミックな文章まで、多様な文章の作成と理解を目標とする。

福祉スポーツ

【面接授業】本授業では、様々な障害のある人たちの身体活動とスポーツに関する歴史的変遷および現状を学び、全ての人間がスポーツという文化に親しみ、健康な心身を育んでいくためのスポーツと社会の在り方を理論と実践から学ぶ。学生は個々人の違いを理解し、より広い視野に立って物事を考える力を身につけ、スポーツを通して“共に楽しみ”、“共に生きること”を深く思索する。さらに、社会生活に必要な教養、専門的な知識・技術、および行動力を習得し、自らの持てる力を活かしてより良い人間関係を築き、社会に貢献できる能力を身につけることを目標とする。

ジェンダーの多様性を学ぶ

【面接授業】本科目では、現代社会における重要な問題であるジェンダーの多様性について学ぶ。性別による固定観念に縛られず、人びとが自他を大切にすることを育むための知識を修得する。また、ジェンダーに関連して多様な家族形態なども学ぶことで、マイノリティ当事者の一人ひとりに寄り添う支援者としてのあり方についての理解を深める。教育現場での事例も可能な限り取り上げることで、だれもが自分らしく安心して過ごせるジェンダー平等を達成するための実践的な力を養うことを目的とする。

保育原理

【印刷教材授業】本授業では高度で実践的な保育と子育ての専門家を目指して、保育の意義を学び、普遍的な子どもの原理・原則と今日の子どもを取り巻く環境に適した柔軟な保育のあり方について学んでいく。授業の方法は、教科書を中心に基礎的な事項を読んで解説すること、動画や資料などをもとに保育の現状を伝える。

安全な生活と危機管理

【面接授業】この授業では、①日常生活に存在する「リスク」について基礎的な知識と技術を学ぶ、②こどもの特性を踏まえ「こどもの安全」について基礎的な知識と技術を学ぶ、③緊急事態に備え、応急手当について基礎的な知識と技術を学ぶことを目的に、わたしたちを取り巻く環境について広く知識を学ぶ。また、調べ学習や発表、ディスカッションを通して発信力を高める。日常生活に存在する「リスク」について基礎的な知識と技術を知り、他者と情報共有ができること、ヒトの習慣や特性を踏まえ私たちの安全について基礎的な知識と技術を知り、情報をまとめて発信することができること、緊急事態に備え、応急手当について基礎的な知識と技術を知り、実践することができることを目標とする。

法学

【面接授業】本科目では、憲法・民法・刑法を中心とする主要な法律の考え方や仕組みを基礎から学習する。初めて法律を学ぶ人でも理解できるように、現実の法実践との関係を重視して説明する。また、子どもの権利や教員の役割を正確に知ること、将来の職務に対する不安をなくしつつ、教職に必要な法的知識を習得する。法律を学ぶことが教育の質を向上させるために役立つことを理解し、教育・保育職としての法的リテラシーを高めることが本科目の目的である。

ことばをくらべる

【面接授業】言語使用に伴う言語現象とその要因に焦点を当てる「語用論」の分野を取り上げる。言語使用の場面や談話の参与者(話し手、聞き手)、人間関係、文化的背景などの言語への現れを、日英語の具体的な言語表現の比較を通して考える。授業では語用論分野の理論を理解したうえで、それを基盤とした簡単な言語分析の練習問題を解くことで理解を深める。日英語の共通点と相違点を通して両言語を体系的に理解すること、英語を学習の目標言語としてではなく言語学研究の対象として理解すること、語用論の用語を理解し、用語を使って言葉のしくみを説明できるようにすることを目標とする。

教育原理

【印刷教材授業】保育士資格・幼二種免許状を取得するために、教育に関する基礎的事項について学ぶ。教育とはどのような行為を指すのか、学習者にとってどのような影響をもたらすのか、教育者(保育者)として行う教育の意味や目的、教育(保育)現場における自らの役割、また現代の教育を支えるシステムなどについて、広く学んでいく。

子ども家庭福祉

【印刷教材授業】近年、少子化、子ども虐待、貧困、子どもの自殺などの諸問題が顕在化し、子ども家庭を取り巻く環境は厳しさを増している。本授業では、子ども家庭を支える法制度や支援の体系などを学習するとともに、近年注目を集めている子どもの権利や養育観を学びながら、社会のあり方や課題について探求する。

子ども家庭支援論

【印刷教材授業】本科目では、子どもと子育てを巡る環境に焦点をあてつつ、子ども・子育てを支える中核としての保育者の役割を明確にすることを第一の目的とする。昨今は児童虐待の問題など、子ども・家庭を巡る環境は複雑化している。地域の子育てを担う保育者は相談・支援の専門職として、ソーシャルワーク等の知識・技術を身につけることは重要である。これらを多角的な視点によって学修することをねらいとする。

社会的養護Ⅱ

【面接授業】本授業では、社会的養護の現状と課題、また適切な支援方法について事例から検討する。子ども・家族への個別対応のセオリーを学ぶ他、多職種連携を基盤とするチーム支援の実践と課題について理解を深める。具体的な事例をもとに事例検討を行う。グループ討議、クラス討議を組み合わせながら意見交換を行い、事例に対する見立てと手立てを多角的に考えることで実践的な問題解決能力を養う。

教育関係法規

【印刷教材授業】教育者（保育者）の実践を支える制度について学んでいく科目。現代の教育（保育）を支える制度について知り、それを踏まえた上で園での教育（保育）活動を円滑に行うための要件について学習していく。その前提として、我が国における法制度の構造や具体的な条文解釈の方法などについて基礎的な知識を学習する。また現在、特に求められている地域との関係性づくりや危機管理の取り組みについて、その意義や具体的な在り方について学ぶ。

特別支援教育論

【印刷教材授業】本授業は、障がい児入所施設児童指導員の経験を活かし、より具体的事例を用いて授業を展開する。保育者として障がいのある子どもやその保護者と向き合いかに理解し支援していくことができるのか学ぶ。本講義では、特別支援教育とは何かを理解することから始め、障がい児（者）教育の歴史や制度、障がいの種類と程度に応じた教育の基本的特性について、さらに、障がいはないが特別的教育的ニーズのある子どもの教育について学んでいく。また、保育学生として障がい児（者）との望ましいかわりを考えられるようになることを目標とする。

社会福祉

【印刷教材授業】近年、社会の構造は急激に変化してきており、様々な社会問題が表出し、また複雑化してきている。すべての人々が自分らしく安心して生きられる社会の実現のためには、生まれてから人生を全うするまでのさまざまなライフステージにおいて、福祉的な支えが不可欠となっている。本科目では、すべての人のウェルビーイングを目指すという観点から、社会福祉の理論や制度、実践のあり方について学んでいく。

社会的養護Ⅰ

【印刷教材授業】近年、子ども虐待事件がメディアにも大きく取り上げられ、重要な社会問題として注目されている。社会的養護の意義はより一層高まっているが、課題も多く残っている。本講義では、社会的養護に関する基礎知識を学びながら、児童養護施設や児童相談所など現場の現状と課題について考察し、すべての子どもたちの権利を守る社会の役割について学んでいく。

保育者論

【印刷教材授業】この授業科目では、保育や保育者に関する多様なテーマを通して、保育者に必要な基礎的知識と専門性を学ぶ。子どもに寄り添う保育の実現に向けて、専門性の在り方や保育の質の向上について理解を深める。また、保育者の連携・協働の実践から社会的役割と職業倫理を考察し、生涯にわたり学び続ける保育者としての姿勢を育む。

保育の心理学

【印刷教材授業】本授業は、子どもの発達と心理を理解し、保育・教育実践に生かす力を育てるための授業である。授業の概要は、①乳児期と幼児期の子どもの発達および心理、②現代の生活や遊びを通した子どもの経験や学習、③子どもの発達や学習における大人の役割の3点である。

幼児理解の理論と方法

【面接授業】本授業は、子どもの発達や学びを理解するための知識や技法を身につけ、保育・教育実践に生かす力を育てるための授業である。授業の概要は、①保育・幼児教育における子ども一人ひとりの心身の発達や学びを、理論に基づいて理解する、②子どもを理解する上での基礎的な考え方や態度を学び、子ども理解に必要な技法を身につける、③子どもの理解に基づく保育者の援助や対応の仕方を理解するの3点である。

幼児教育相談

【面接授業】「幼児教育相談」は、保育カウンセラー、スクールカウンセラーとしての経験を踏まえ、保護者の子育て支援をすることがテーマになる。この授業では、教育者として必要となる教育相談の具体的な進め方やポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解し、カウンセリングの基礎的な理論や具体的な方法を整理する。授業は、事例を多く取り入れながら行う。学生自身で感じ、考えることで教育者として求められるカウンセリングマインドについて学ぶ。

子どもの保健

【印刷教材授業】本講義は、子どもの心身の健康や発達に応じた保育行動の基礎知識を習得するだけでなく、多様化する家族の在り方から子どもと家族の健康支援に関する知識も習得できる講義を行う。子どもの発達や多様化する家族の在り方に応じた保健行動をイメージし、子どもの保健活動の意義、身体的な発育・発達と保健、心身の健康状態とその把握の方法、疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応等を理解するための講義を実施する。より深い理解と気づきを得ることができるよう、主体的、能動的な学習活動を取り入れる。

子どもの食と栄養Ⅱ

【面接授業】食事は健康的な生活を送るうえでのベースである。本授業では子どもの食と栄養Ⅰで学んだ子どもの発達期に応じた食事形態の特徴および家庭や児童福祉施設における食の現状、多様化する食の課題を理解したうえで、実際に調理・試食して実践力を身につける。一方、調理には衛生管理が伴う。食の安心・安全を理解し、食材の取り扱いを通して食育活動の手がかりを得ることとする。

保育内容総論Ⅰ

【印刷教材授業】本授業は、幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園における教育・保育の基本に基づいて、総合的に指導するという考え方を理解し、幼児の興味関心や発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方を理解する。担当者の実務経験を生かし、現場の様子も講義に反映し、具体的な理解を促す。乳幼児期の教育・保育においては、子どもの内面を理解することが一番の出発点であることを理解すること、乳幼児から幼児期の終わりまでに育ってほしい姿をイメージし、総合的な指導の在り方や、保育者の役割を理解すること、乳幼児の興味や関心、発達に応じた具体的な指導の在り方を、事例を通して理解することを目標とする。

子ども家庭支援の心理学

【印刷教材授業】本授業は、子どもや保護者の心理を多面的に深く理解し、保育・教育実践に生かす力を育てるための授業である。子どもの発達を踏まえた上で、保育・教育の実践が与える子どもへの影響について考える。授業の概要は、①生涯発達について理解する、②家族・家庭の意義や機能と親子や家族関係を発達の視点で捉える、③子育て家庭をめぐる社会的状況について理解する、④子どもの精神保健とその課題を理解するの4点である。

子どもの食と栄養Ⅰ

【印刷教材授業】食事は健康的な生活を送るうえでのベースである。本授業では、子どもの発育・発達に関する科目を学んだうえで子どもの発達期に応じた食事形態の特徴を理解し、食育への応用について理解を深める。家庭や児童福祉施設における食の現状を理解し、多様化する食の課題に対応する力を身につける。関連するガイドラインから食物アレルギーや特別な配慮を要する子どもの食について学び、食の面から健康的な生活の支援ができるよう理解を深める。

保育カリキュラム論

【印刷教材授業】この授業科目は、保育士の経験を踏まえ、保育者が子どものよりよい成長を願い、子どもとともに遊びや生活を創り出すことができる「計画に基づいた実践」について、その仕組みや考え方、作成の方法、省察の意義と方法について具体的に考える。全体的な計画や具体的な指導計画は、保育者の意図や目的のないままに行われることはない。実践経験をもとに保育者の子ども理解や保育観が計画実践に影響を及ぼすことを理解できるようにするとともに、計画作成を授業内で体験的に学べるようにする。

保育内容総論Ⅱ

【面接授業】本授業は、保育内容総論Ⅰを踏まえ、幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園における教育・保育の基本に基づいて、総合的に指導するという考え方、幼児の興味関心や発達の実情などに応じた具体的な指導の在り方の理解を深める。教育・保育内容を実践に即して総合的にとらえることができるように、DVD教材の活用、グループにおける話し合いや発表を取り入れ、具体的に学ぶ。担当者の実務経験を生かし、現場の様子も講義に反映し、具体的な理解を促す。乳幼児期の教育・保育においては、子どもの内面を理解することが一番の出発点であることの理解を深めること、乳幼児から幼児期の終わりまでに育ってほしい姿をイメージし、総合的な指導の在り方や、保育者の役割について理解を深めること、乳幼児の興味や関心、発達に応じた具体的な指導の在り方について、事例を通して理解を深めることを目標とする。

保育内容指導法「生活と健康」I

【印刷教材授業】HTDP1「保育と保育者の本質についての理解」に関連して、領域「健康」に関わる保育実践に関する知識・技術の獲得を目指すとともに、幼稚園教育要領及び保育所保育指針に示された領域「健康」のねらい及び内容についての理解を深める。幼児の発達に即して、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。

保育内容指導法「生活と人間関係」

【印刷教材授業】この授業科目では、領域「人間関係」についての理解を深め、乳幼児期の発達と人とかかわりの広がりを理論と実践の両面から学ぶ。実践事例をもとに、子ども同士・子どもと大人・保育者同士・保護者との多様な人間関係の在り方を理解する。また、ロールプレイや模擬保育を通して、理論と実際の子どもの姿を結びつけ、発達に応じた適切な関わりを考える力を養う。

保育内容指導法「生活と言葉」

【印刷教材授業】本授業では、高度で実践的な保育と子育ての専門家を目指し、保育内容の言葉に関する専門的知識と技能を修得する。子どもの言葉とは何か、言葉の発達とは、さらに言葉の発達を促すための教材として絵本等をどう活用すべきか、保育内容領域「言葉」について学んでいく。授業の方法は、動画や資料などをもとに保育内容における言葉の指導法を深めていく。

教育・保育の方法

【印刷教材授業】本授業では、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育・保育の方法・技術・情報機器および教材の活用に関する基礎的な知識・技術を習得する。

- 1) 保育の形態・方法・環境構成について理解すること、
- 2) 教育・保育の目的に適した指導技術を理解し、計画を作成することができること、
- 3) 効果的な情報機器及び教材の作成・提示の仕方を理解することができることを目標とする。

子どもと健康IB

【面接授業】この科目では、HTDP1「保育と保育者の本質についての理解」に関連して、領域「健康」の指導に必要な、幼児の心身の発達、多様な動きを獲得するための身体活動のあり方などについて、実践を通して知識・技能を身につける。また、様々な保育の課題について議論する中で、HTDP4に示される連携、協働の力を養う。

保育内容指導法「生活と健康」II

【面接授業】HTDP1「保育と保育者の本質についての理解」に関連して、領域「健康」に関わる保育実践に関する知識・技術の獲得を目指す。幼児の発達に即して、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身につける。授業内で実施する模擬保育を通して、自己の振り返りや課題の発見を心掛け、HTDP3に示される省察力やHTDP4の協働性の向上を目指す。

保育内容指導法「生活と環境」

【面接授業】この授業科目では、領域「環境」のねらいと内容を理解し、子どもの興味・関心を引き出す環境構成の考え方を学ぶ。保育者が環境を通して子どもの学びを支えるための援助を理解し、発達に応じた環境構成や活動の展開を計画・実践する基礎的な力を養う。

保育内容指導法「生活と表現」

【印刷教材授業】本授業は、子どもの表現活動に関わる発達とその指導法を学ぶ。子どもが周りの世界と意欲的に関わり、様々な方法でイメージを膨らませ表現して遊ぶことの意義や、保育者の指導法を学ぶ。2年次に行われる実習での学びと連動しながら、現場でも役に立つ実践的な表現力とその技術を学び、子どもと保育者の感性豊かな表現の重要性を認識できるようにすることを目指す。

子どもと健康IA

【印刷教材授業】この科目では、HTDP1「保育と保育者の本質についての理解」に関連して、領域「健康」の指導に必要な、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活などについての知識を身につけるとともに、今日の保育の課題について学習し、その対処法を考える。

子どもと人間関係

【印刷教材授業】この授業科目では、領域「人間関係」に示されるねらいと内容を理解し、乳幼児期の人とかかわる力を育むための基礎理論を学ぶ。さらに、幼児が自ら行動する充実感を味わい、身近な人とかかわりながら生活できるよう援助する保育者としての資質を身につける。

子どもと環境

【印刷教材授業】この授業科目では、乳幼児を取り巻く環境と乳幼児の環境とのかかわりの現状と課題を踏まえ、領域「環境」のねらいと内容について理解を深める。乳幼児期における環境とのかかわりの発達を学び、子どもが身近な環境に主体的に働きかける姿を理論と実践の両面から理解する。実践事例を通して、子どもの探究活動と環境との相互作用を捉え、保育者として環境をとらえる視点と環境構成の基本を身につける。

子どもと表現

【面接授業】本授業は、領域「表現」を通してねらい、内容を理解し、乳幼児の表現の特徴や発達、様々な表現活動や環境の構成などについて実践を交えて学び、乳幼児期の表現活動を支える保育者の役割を考え知識や技能、表現力を身につける。

保育の音楽Ⅱ

【印刷教材授業】授業用オンデマンド動画を視聴しピアノや弾き歌いの発展を学ぶ。指定された課題曲を練習し、撮影した動画を提出してチェックを受ける。経験別の課題に取り組み、初心者及び中級者は保育の音楽Ⅰで身につけたピアノの基礎を新たな課題に取り組むことでさらに向上させること、また上級者は生活のうたや季節のうたの弾き歌いレパートリーがさらに増やせるようにすることを目標とする。

※一部、面接授業あり

子どもと造形表現Ⅰ

【印刷教材授業】本授業は、基礎的な造形表現を総合的に学ぶものである。各種画材及び素材の特徴や可能性、また様々な材料や用具の適切な扱い方を学び、子どもとの関わりを意識した創造性豊かな造形表現を学ぶ。子どもにとっての造形表現の意義を理解すること、平面と立体の造形体験から創造的な環境づくりに向かう態度や感性を育むこと、造形活動で使われる材料や道具に関する基礎的な知識を学び表現の楽しさを味わうことを目標とする。

子どもと健康Ⅱ

【印刷教材授業】本授業は、子どもが自らの身体や生活のリズムに気づき、心身の健康を育む過程を理解するとともに、保育者がその“気づきと自発性”を支える環境や関わり方を学ぶ。乳幼児期の生活・安全・健康に関する知識を基礎に、現代的な健康課題（睡眠、食、情動、デジタル環境など）を通して、子どもの「生きる力」を支える実践的な視点を身につける。オンデマンド授業では、映像教材や観察課題、振り返りレポートを活用し、子ども主体の健康づくりに関する探究的な学びを深める。

子どもと言葉

【印刷教材授業】この授業では、領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を身につける。オンデマンド動画で示される具体的な画像などの資料と、教科書に書かれた理論・知識の両方を組み合わせて学びを深める。乳幼児の言葉の発達の概要を理解するとともに、子どもに限らず、自らも含めた「人」として言葉がどのような役割を持つのか、言葉によるコミュニケーションの機能や課題について理解する。

保育の音楽Ⅰ

【印刷教材授業】授業用オンデマンド動画を視聴しピアノや弾き歌いの基礎を学ぶ。指定された課題曲を練習し、撮影した動画を提出してチェックを受ける。経験別の課題に取り組み、初心者及び中級者はピアノの基礎を身につけること、また上級者は生活のうたや季節のうたの弾き歌いができるようになることを目標とする。

※一部、面接授業あり

子どもと音楽表現

【印刷教材授業】（弾き歌い）保育の音楽Ⅰ・Ⅱで学習した課題をさらにレパートリーとして修得できるようにすること、また、（指導法）できる限り多くの曲の背景を知り、歌詞について学び、いかに保育実践で展開するのかについて考えることを目標とする。

※一部、面接授業あり

子どもと造形表現Ⅱ

【印刷教材授業】本授業は、応用的な造形表現を総合的に学ぶものである。各種画材及び素材の特徴や可能性を活かし、子どもとの関わりを意識した創造性豊かな造形表現を学ぶ。「子どもと造形表現Ⅰ」を踏まえた上で、造形表現の更なるスキルアップを目指し、子どもの表現意欲と感性を育む環境や言葉掛けなど、実践的な事例を踏まえた造形表現を体験しながら理解を深めることを目標とする。

児童文化

【印刷教材授業】本授業では、園や学校での子どもの生活に限定せず、子どもの生活全てを対象として、子どもの心を育てる児童文化や児童文化財を中心に、歴史や理論を学ぶ。また、子どもを見守る家族や社会との関わりとして、文化施設や生育儀礼、年中行事などの意義についても学ぶ。テキストに掲載された事例を参考に、自らの子ども時代の思い出や、身近な地域での取り組みなどと知識を結びつけながら、保育者が接する子どもたちを取り巻く児童文化について理解を深める。

インクルーシブ保育の理論と方法

【印刷教材授業】本授業は、保育現場における障がいのある子どもや、外国にルーツのある子どもなどの理解及び支援・環境調整をすることができる知識及び技能を身につけ、インクルーシブ保育の基礎を学ぶ。保育現場においてニーズの高い発達障がいのある子どもなど、配慮を必要とする子どもへの支援に加えて、外国にルーツを持つ子どもや異文化で育った子ども、病弱な子ども、不安定な家庭で育った子どもなど様々な支援を必要とする子どもへの理解と支援の方法について体系的に理解することができることを目標とする。

病児保育と救命法

【印刷教材授業】病児保育は保育所や幼稚園などにおける子育て支援として、最もニーズの高いものである。病児保育を学ぶことで専門性の高い保育者となるためのスキルアップを目指す。本授業では、最初に病児保育の意義や役割について学び、さらに、病気、もしくは病気回復期の子どもに対して、どのように保育、看護したら良いのか学びを深める。加えて、園内での事故や誤飲、怪我など安全や緊急時の対応など、救命救急の具体的な対応を学ぶ。授業方法は、教科書を使用する他、動画や資料を活用する。

乳児保育Ⅱ

【面接授業】この授業科目では、乳児についての基礎的な知識と乳児保育の実践の場で求められる保育技術を実践的に学ぶことができるようにする。この授業科目は、乳児保育Ⅰでの学びの理解を深める授業であり、乳児及び1歳以上3歳未満の子どもが有能な存在であることを理解する等、乳児保育の基本について考える。講義を聞くことに留まらず、調べ学習や討論などを行い、乳児保育に対する自分の考えやあり方をまとめ、乳児保育についての保育観を伝えることができるようにする。

障害児保育Ⅰ

【印刷教材授業】本授業は、障害児入所施設児童指導員の経験を活かし、より具体的事例を用いて授業を展開する。保育者として障がいのある子どもやその保護者と向き合いに理解し支援していくことができるのか体験的に学ぶ。保育現場において、障がいを持つ子どもへの理解を深めるために、ここではまず障がいをどのように捉えるのかについて学ぶ。また、保育現場でよく出会う発達障がいを中心に障がいの特徴や保育現場でできる支援について事例や体験を多く取り入れながら学んでいく。

多文化共生保育

【印刷教材授業】保育現場において支援を必要とする日本語を母語としない子どもの理解および支援・環境調整をすることができる専門性を身につける。授業は講義およびグループワークなどによる多文化共生保育に必要な視点および日本語を母語としない子どもや保護者との関わりの実際を学ぶ。

乳児保育Ⅰ

【印刷教材授業】乳児及び1歳以上3歳未満児の姿を十分に認識し、乳児及び1歳以上3歳未満の子どもが有能な存在であることを理解する等、乳児保育の基本について考える。事例の考察などを行い、乳児保育に対する自分の考えをまとめながら、体験的に乳児保育の基本を学ぶ。

子どもの健康と安全

【面接授業】本科目は、子どもの健康の保持増進を目的とし、子どもの日々の健康観察や集団全体での健康支援を通し保育における保健活動について学習する。関連するガイドラインに基づき、保育所における感染症対策やアレルギー対応、事故防止・安全対策について場を想定しながら学習を進める。また緊急時における対応は事例を通しその対応を身につける。演習は「理論に基づく実践」を重視し、グループワークを通して保育者間および他職種との連携についても考えていく。

障害児保育Ⅱ

【面接授業】本授業は、障害児入所施設児童指導員の経験を活かし、より具体的事例を用いて授業を展開する。「障害児保育Ⅰ」を踏まえ、保育者として障がいのある子どもやその保護者と向き合いに理解し支援していくことができるのか体験的に学ぶ。保育現場において、障がいを持つ子どもへの理解をより深めるために、ここではまず障がいをどのように捉えるのかについてさらに学ぶ。また、保育現場でよく出会う発達障がいを中心に障がいの特徴や保育現場でできる支援について事例や体験を多く取り入れながら学んでいく。

教育実習I(事前・事後指導)

【印刷教材授業】本授業は実習前の「事前指導」、実習後の「事後指導」で構成される。実習の目的や実習日誌の書き方を具体的に学ぶとともに、実習に臨む実習生の心構えや態度についても実習前に理解する。実習後は、自己課題の振り返り、実習の体験的学びを実践力として活かせるようにしたり、次の実習に向けて自分の今後の課題を明確にする。実習前後の指導において、実習の目的や心構え、日誌の書き方を学び、実習後に体験の振り返りと今後の課題を明確にする。

※一部、面接授業あり

教育実習I

二週間に及ぶ継続的な観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教員になる上での能力や適性を考えるとともに課題を自覚する。体験的な学習を通して、教育実践の基礎的な能力と態度を身につける。二週間の観察・参加・実習を通して教員としての適性と課題を自覚し、体験的学習により教育実践の基礎的な能力と態度を身につける。

保育・教職実践演習(幼稚園)I

【印刷教材授業】本授業は、通信教育課程の最後に、教育・保育実践に必要な基礎的事項を総合的に振り返る科目である。幼稚園教育要領・保育所保育指針等を踏まえ、発達理解、環境構成、保護者支援、安全管理、記録・評価、ICT活用などを扱う。オンデマンドによる動画視聴や資料での学修後に小テストや課題を通して自己評価を行い、その学修成果を保育・教職実践演習IIの面接授業へとつなげる。教育・保育現場の課題を理解し、発達と環境構成、遊び中心の保育、保護者支援やチーム連携を学ぶ。安全管理や法的責務、記録・評価作成、専門職としての自己評価とキャリア形成、ICT活用と情報管理の要点を学ぶ。

教育実習II(事前・事後指導)

【印刷教材授業】本授業は実習前の「事前指導」、実習後の「事後指導」で構成される。実施した「教育実習I」での学びと課題を踏まえて、2回目の実習の目的や実習日誌の書き方を具体的に学ぶとともに、計画を伴う実践への取り組み方、計画の書き方を理解する。実習後は、自己課題の振り返り、実習の体験的学びを実践力として活かせるようにしたり、次の実習に向けて自分の今後の課題を明確にする。実習前後の指導において、教育実習Iを踏まえ実習目的や計画作成を学び、実習後に体験の振り返りと次の実習への課題を明確にする。

※一部、面接授業あり

教育実習II

二週間に及ぶ継続的な観察・参加・実習という方法で教育実践に関わることを通して、教員になる上での能力や適性を考えるとともに課題を自覚する。教育実習Iよりも、より参加・実践的な学習を通して、教育実践の基礎的な能力と態度を身につける。二週間の継続的な観察・参加・実習を通して適性と課題を自覚し、教育実習Iより進んだ参加的・実践的学習で教育実践の基礎的な能力と態度を養う。

保育・教職実践演習(幼稚園)II

【面接授業】本授業は通信教育課程の学修全体を振り返り、最後に総括する科目であり、幼児教育・保育の実践力を統合的に確認していく。本授業の受講前に保育・教職実践演習Iのオンデマンド授業でこれまでの学修全体を振り返ったことを踏まえて、保育・教職実践演習IIでは、対面授業を通して、保育者としての資質を自覚し、保育現場における実践力をどう生かすか事例研究や学修カルテを通して省察を行う。なお、対面授業では一定規模のクラスに分け、複数の教員が分担・連携しながら授業を担当する。演習やグループ討論等を組み合わせ、定められた日程の中で、学修の省察と実践力の統合を図る。オリエンテーションを行い、児童文化や保育教材への理解を深める。さらに事例研究とグループ討論による教育・保育実践の検討を進める。保育・教育実践者の講演を聞き、内容を踏まえてグループワークを行う。その後、履修カルテの作成と振り返りを実施し、総括と確認テストで理解を確かめる。

科目概要(専攻科保育専攻通信教育課程)

本課程で開講するすべての科目の科目概要(授業内容)です。保育士資格取得に必要な科目の具体的な内容を紹介します。

保育実習IA(事前・事後指導)

【印刷教材授業】保育実習(施設)は、学生が初めて学外で行う実習である。また、社会福祉施設(乳児院、児童養護施設などの児童福祉施設や障害者施設等)では、いわゆる保育所保育や幼稚園での保育とは違った視点での実習が求められる。本科目では、児童福祉施設等での実習が円滑に実施され、かつ、児童福祉専門職としての保育士になるための自らの課題を明らかにできるよう、事前・事後の学習を行う。

※一部、面接授業あり

保育実習IB(事前・事後指導)

【印刷教材授業】本授業は、保育での実務経験を踏まえ、保育所における保育士の役割について具体的な話題から、事前に実習の心構えに導く。保育実習の概要を整理し、保育所実習の目的を理解する。学内で履修した授業の成果をふまえ、保育現場での保育を体験的かつ実践的に学ぶために必要な準備について、講義や資料を通して具体的に知り実践する。子どもの理解や保育の理解が深まるように、実際に保育の記録、指導計画を書いてみる。また、保育に必要な教材について調べ、活用方法を理解し実践してみる。

※一部、面接授業あり

保育実習II(事前・事後指導)

【印刷教材授業】本授業は、保育園での実務経験を踏まえ、より実践的な保育士の職務内容について理解が深まるようにし、記録や計画的保育に意欲的に取り組めるよう事前に実習の心構えに導く。保育実習の概要を整理し、保育所実習の目的を理解するとともに、これまでの実習及び学内で履修した授業の成果をふまえ、保育現場での保育を体験的かつ実践的に学ぶことができるように、必要な準備について、講義や資料を通して自主的に行う。子どもの理解や保育の理解が深まるように、保育の記録や、指導計画を実践的に書く。また、保育に必要な教材を自主的に調べ工夫しながら準備する。

※一部、面接授業あり

保育実習I(保育所)

保育所の概要を整理し、実習の目的を理解する。学内での授業の内容を踏まえ、保育現場において保育を体験的かつ実践的に学ぶ。

実習時期:最終年次の8・9月で連続する10日間

保育実習I(児童福祉施設)

施設の概要を整理し、実習の目的を理解する。学内での授業の内容を踏まえ、保育現場において保育を体験的かつ実践的に学ぶ。

実習時期:最終年次の5・6月で連続する10日間

保育実習II

本授業は、保育実習の意義や目的を理解し、子どもの最善の利益を考慮した保育・保護者支援など、保育の学びを具体的に学ぶ。保育実習Iでの経験や既習の教科内容との関連性をふまえて実践する。観察や記録、自己評価をふまえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。保育士の専門性や職業倫理について十分理解する。

実習時期:最終年次の11・12月で連続する10日間

学生生活

各種学生割引

スクーリングと大学公式行事参加時に片道101kmを超えるJR・近鉄の場合は、学生割引を利用することができます。その他、学生証を提示することで利用できる学生割引があります。

奨学金等

[日本学生支援機構奨学金]

通信教育課程の学生でも、申込み条件を満たしていれば日本学生支援機構の奨学金を受け取ることができます。

返済の義務がない給付奨学金と返済の義務が生じる貸与奨学金があります。

詳しくは日本学生支援機構のホームページでご確認いただくか、本学へお問い合わせください。

日本学生支援機構の
ホームページはこちら ▶



学生支援課 TEL:0562-97-1306

[その他の奨学金]

大学へお問い合わせください。

[所得税の勤労学生控除]

納税者自身が勤労学生であるときは、一定金額の所得控除を受けることができます。

詳しくは、確定申告を自身で行っている方は居住地の税務署、勤務先で年末調整がある方は勤務先の給与担当者にお問い合わせください。

勤労学生に該当するかどうかは、国税庁のホームページから確認してください。

国税庁の
ホームページはこちら ▶



入学相談

出願する前に、次のような入学相談の機会を利用して、本学通信教育課程について理解した上で出願されることをお勧めします。

説明会での入学相談

対面やオンラインでのオープンキャンパスを開催しています。

ホームページで開催日を確認し、事前予約をしてください。

開催情報と事前予約はこちら ▶



電話または本学での入学相談

平日／9:00～16:00、土曜／9:00～13:00

[カリキュラムやその他に関する相談の場合] 電話：0562-97-1306 (名古屋短期大学学生支援課)

[出願に関する相談の場合] 電話：0562-97-6311 (名古屋短期大学入試広報課)

※大学行事等により閉室している場合がありますので、事前にホームページ等でご確認ください。

メールでの入学相談

[保育科通信教育課程メールアドレス] tsushin@nagoyacollege.ac.jp

※身体に障がいのある方の出願について

本学通信教育課程では、身体に障がいを持つ方にはできる限りの合理的配慮を行いますが、状況によっては対応できない場合があります。入学を希望する場合は、事前に入試広報課までご相談ください。

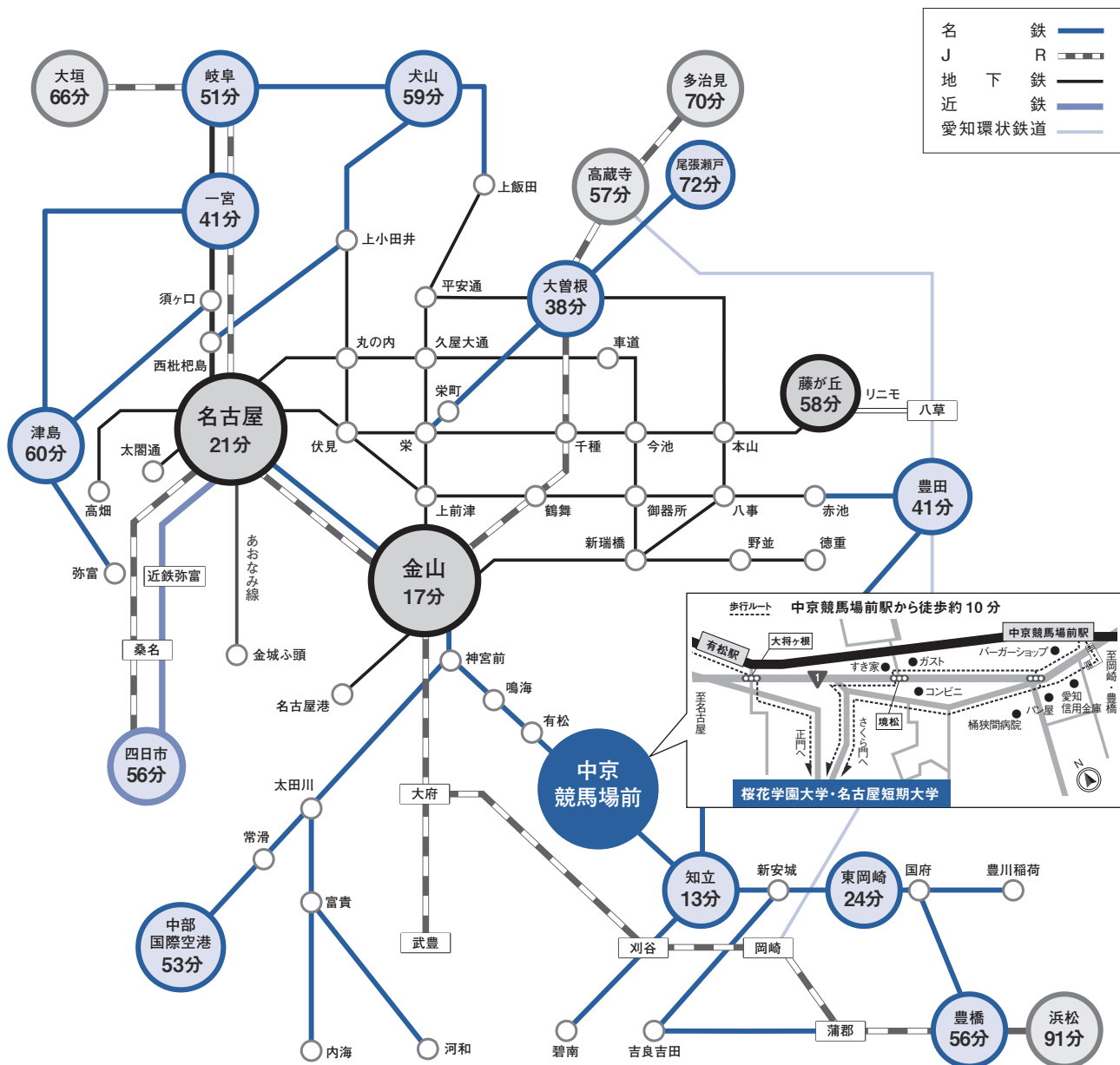
※入学許可後の辞退および学費等の返還について

入学許可後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、所定の「入学辞退届」を提出してください。期日までに手続きを完了した場合に限り、納入済の費用を返還いたします。(※入学検定料は返還対象外です。)

<注意>

- ・「入学辞退届」の提出後、辞退を取り消すことはできません。
- ・期日を過ぎてからの辞退手続きについては、入学経費および学費の返還は一切行いません(入学辞退ではなく「退学」扱いとなります)。
- ・返還金の口座振込には、辞退手続き完了から約2か月程度かかります。

ACCESS [交通アクセス]



名古屋短期大学

保育科通信教育課程

専攻科保育専攻通信教育課程

[お問い合わせ]

〒470-1193 愛知県豊田市栄町武侍48

入試広報課専用ダイヤル TEL.0562-97-6311

<https://www.nagoyacollege.ac.jp>



Webサイトはこちら